

煌めく自分割り

株式会社 Frajouterie
代表取締役社長 橘田 佳音利



■新しいあたりまえ■

「新しいあたりまえ」とはわたくしの慕っている社長がよくおっしゃっているので、わたくしにとっては常に聞いている言葉です。

わたくしが今まで致してきていること、それは、女性が年齢にとらわれずに、中身を計られて就業の機会を得ることができるようになることです。

仕事は年齢ではないのです。その人の能力と経験、そして前向きな努力なのです。

にもかかわらず、世の中はまだまだ年齢で雇用する人を決める傾向にあることが現実です。

この「あたりまえ」なのに、「あたりまえになっていない」事実は時代背景にあります。

まさにわたくしが致していることは「新しいあたりまえ」になるべきことだと思っております。

ところで、その「新しいあたりまえ」と同じことであろうと思われる「ニューノーマル」を辞書で引いてみました。

本来経済用語であって「新しい秩序」またそれが常態化すること。「元の姿（オールドノーマル）には戻らない」という見解だそうです。すなわち新常态となることだと知りました。

アメリカ債権運用会社、ピムコのモハメドエラリアンCEOが提唱したのだとのこと。ニューノーマルは「世界経済はリーマンショッ

クから回復したあと危機の前の姿に戻るのではなくまったく別物になっている」という考え方なのだそうです。とすれば「どんな姿になるのか?」「どう対処すれば良いのか?」がテーマだそうです。

■女性が年齢にとらわれずに働くこと■

経済に則したニューノーマルに関して何とも申し上げられませんが、その社会の変化にそぐうニューノーマルに関してお伝えしたいと思えます。

わたくしは株式会社フラジュテリーという会社を経営いたしております。

その社として掲げているものは、

仕事は年齢ではありません。その人それぞれの能力と経験、そして前向きな努力です。働きたい人が年齢にとらわれず仕事に就ける社会の実現を目指し、就業者・企業の双方が発展し幸せになることを目指します。

フラジュテリーはそのために、

- *企業にとって必要で有能な人材を輩出します。
- *社員一同「思い」を大切に「誠意」を持って「煌く自分割り」のお手伝いをするべく、自分自身が煌くマチュアとなり、「煌きを引き出せる人」でいます。
- *働きたい人が持つ能力を発揮するため、また、企業が発展するための、社会に必要な就業の機会を創ります。

というものです。

このコンセプトは約8年前の起業の時からかわりません。

女性が年齢にとらわれないで仕事に就けること、これが常態化される。いえ常態化されなければならないと思っております。

ところが今までの社会はそれが受け入れられませんでした。

日本では、男性は働く性であり、女性は専業主婦でいるのがあたりまえの時代がありました。特に現在の40歳代50歳代の女性に関しては、まだ男女平等雇用機会均等法も施行されていないか、されたばかりの時代です。

しかしながら現在では女性は働くか専業主婦でいるか選択できる性になってきています。

そして現在働きたくても働けない女性がたくさんいます。そんな働きたい女性に門戸が開かれるべき時がきたのです。

女性が年齢にとらわれないで仕事に就けること、これが常態化される。まさにこれが新しい時代に則するニューノーマルなのです。

現在2012年問題が懸念されています。

2007年問題というものもありました。2007年問題は、還暦に差しかかる団塊の世代の退職による労働者不足の懸念でした。しかし2007年、団塊の世代の継続雇用ということでとりあえず収まったのです。

そして迎える2012年問題、その団塊の世代の方たちが65歳になっ

ていくのです。少子化も重なり今度こそ労働人口の激減化が懸念されているのです。そこで注目されるのが女性の労働力です。

現在まで、このことをニューノーマルとするためには2つの壁をくずさなければなりませんでした。

一つは、企業側の認識を変えること。そして二つ目は、働く女性側の認識も変えることです。

一つ目の企業側の認識は、この2012年問題によって変わることでしょう。そして二つ目の働く女性の認識に関してです。

■煌く自分割り■

わたくしは女性を応援するにあたって、「煌く自分割り」を提唱致してきております。

これはモチベーションをアップし、またそのモチベーションをキープできる自分を創り上げること。そしてコミュニケーション能力を養うこと。そしてその「思い」だけでなく「見た目」の煌きも必要だとお伝えいたしております。

「煌き」は「心」と「身体」双方がそろってのことです。

当初これをお伝えし初めた8年前、世の中は、スキルがあればモチベーションなんて関係ない、という風潮でした。しかし昨今コミュニケーションスキルとともにモチベーションに関しての重要性は注目を浴びています。

これも社会の変化であろうと思います。男性もただスキルが高い

だけで働くことには問題が生じてきています。特にIT社会となった今では、心の病が増えてきているからです。時代が変わっていくとともに、意識も変わってきているのです。

この社会変化により二つの崩さねばならなかった壁が崩れていつてくれているのです。

■女性の社会進出による変化■

また女性の社会進出による変化も出てきています。

インターネットの時代になり活字がなくなると言われていますが、女性が社会進出したことにより、経済を動かすものにも変化が起っています。

活字がなくなると言われてもお料理本は売れています。またミドルエイジに焦点があわせられることにより、40代女性向けの雑誌が飛ぶように売られています。たとえばオープンとセットでお料理の本を販売、好評を博しています。

40代向けの雑誌がおまけつきで飛ぶように売られています。売り切れ状態になるとその680円の雑誌がなんとオークションで2000円で即日売れてしまうのです。

インターネットで小説を読む人もいれば、活字を好みネットの情報もプリントアウトして読む人もいます。お化粧品の説明書はCD化されていても、それとともに分厚いオールカラーのパフレットが送られてくるのも事実です。

2011年新時代、女性が働くこと。女性が年齢にとらわれずに働くこと。働くということがスキルだけではなく「心」の健康も大切であるということ。そして女性が社会進出したことによりまた違う社会が出来上がっていくこと。

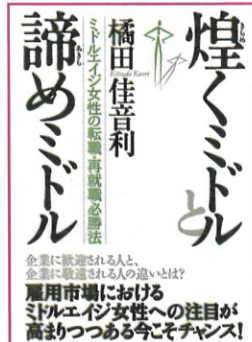
これが新時代のニューノーマルになるのです。

■プロフィール■

橘田 佳音利 (きつた かおり)

1958年東京都生まれ
大学卒業後住友電気工業(株)に入社
結婚のため退社
結婚後半年で仕事復帰
多くの仕事経験や個人の体験から
女性・ミドルエイジの就業支援のため
雇用・創出のトータルサポートを
してゆくべきと感じ、2003年3月
株式会社Frajouterie (フラジュテリー) 設立
株式会社Frajouterie代表取締役
エグゼクティブマチュアバイザー
主な著書

「煌めくミドルと諦めミドル」(長崎出版)



「煌めくミドルと諦めミドル」
ミドルエイジ女性の転職・再就職必勝法 (長崎出版)